

6. 応募内容ファイルについて(1)

本年度の主な変更点について

①「研究機関名」、「研究代表者氏名」欄について

昨年度までは基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究の応募内容ファイルのページの最下部に「研究機関名」、「研究代表者氏名」を記載する欄を設けていましたが、本欄を削除しました。

②「研究業績」欄について

基盤研究(A・B・C)の応募内容ファイルの研究業績欄について、各年度の記入欄をあらかじめ等間隔に配置しました。

6. 応募内容ファイルについて(2)

例) 基盤研究(C)(一般)に応募する場合

①「研究目的(概要)欄」

審査委員が研究目的を端的に把握できるように、研究目的の概要について簡潔に記述してください。

様式S-1-8 応募内容ファイル (添付ファイル項目)

基盤C (一般) - 1

研究目的

本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。(記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」(公募要領66頁参照)を参考にしてください。)

- ① 研究の学術的背景(本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等)
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

研究目的(概要) ※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。

枠内に研究目的の概要を簡潔にまとめて記述してください。

破線は消さないでください。

6. 応募内容ファイルについて(3)

②「研究計画・方法(概要)」欄

審査委員が研究計画・方法を端的に把握できるように、研究計画・方法の概要について簡潔に記述してください。

基盤C (一般) - 3

研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成26年度の計画と平成27年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わる場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

研究計画・方法(概要) ※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。

枠内に研究計画・方法の概要を簡潔にまとめて記述してください。

破線は消さないでください。

6. 応募内容ファイルについて(4)

③「今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄

①～③の3点について、具体的かつ明確に記述してください。(特に「③の本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等」の項目については、「研究成果をどのようにしたら分かりやすく社会・国民に公表(発信)できるのか」という視点で記述してください。)

基盤C (一般) - 5

今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

①～③の点について、具体的かつ明確に記述してください。

6. 応募内容ファイルについて(5)

④「研究計画最終年度前年度の応募を行う場合の記入事項」欄

研究計画最終年度前年度応募により、新たに応募することができる研究種目は、「特別推進研究」、「基盤研究」です。但し、「若手研究(A・B)」の研究課題を基に、応募することができる研究種目は、「基盤研究」のみとなることに留意してください。

| 研究計画最終年度前年度の応募を行う場合の記入事項 (該当者は必ず記入してください (公募要領 18 頁参照)) | | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|-------|--------------------|
| ※該当しない場合は記入欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。 | | | | |
| 本欄には、研究代表者として行っている平成 26 年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ今回再構築して本研究を応募する理由 (研究の展開状況、経費の必要性等) を記述してください。(なお、本欄に記述する継続研究課題の研究成果等は、基盤 C (一般) - 8 の「これまでに受けた研究費とその成果等」欄に記述しないでください。) | | | | |
| 研究種目名 | 審査区分 | 課題番号 | 研究課題名 | 研究期間 |
| | | | | 平成 年度～ 平成 26 年度 |
| 当初研究計画及び研究成果等 | | | | |
| 応募する理由 | | | | |

該当しない場合は記入欄を削除することなく、空欄のまま提出してください。

6. 応募内容ファイルについて(6)

⑤「研究業績」欄

研究種目によっては、最近5カ年間の業績に限定している場合と、そうでない場合がありますので、様式の指示書等を確認しながら作成してください。

基盤C (一般) - 6

| 研究業績 | | 研究業績 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>本欄には、研究代表者及び研究分担者が最近5カ年間に発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年(暦年)毎に線を引いて区別(線は移動可)し、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限り、また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別(二重線は移動可)し、研究者毎に、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記入してください(発表年毎に線を引く必要はありません)。</p> | | |
| 発表年 | 研究代表者・分担者氏名 | <p>発表論文名・著書名 等</p> <p>(例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入してください。)</p> <p>(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入しても可。なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付してください。)</p> |
| 2013以降 | <p>齋町 太郎</p> <p>半蔵門 一郎</p> | <p>1. 論文名 齋町太郎、○○○○、▽▽▽▽(他8名、1番目) ××学会誌 9巻 査読有 51-58 (2013)</p> <p>2. 論文名 □□□□、半蔵門一郎、●●●●●(他5名、2番目) ◎◎学会誌 3巻 査読有 120-125 (2013)</p> |
| 2012 | <p>齋町 太郎</p> <p>永田 町男</p> | <p>3. 論文名 齋町太郎、▽▽▽▽(他4名、1番目) ◇◇論文集 12巻 査読有 120-125 (2012)</p> <p>4. 論文名 永田町男、学術仙太(他7名、1番目) ☆☆学会誌 15巻 査読有 95-101 (2012)</p> |

学術誌への投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限り、また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別(二重線は移動可)し、研究者毎に、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記入してください(発表年毎に線を引く必要はありません)。

研究代表者には二重下線

研究分担者には一重下線

連携研究者には点線の下線

線は移動可

6. 応募内容ファイルについて(7)

⑤「研究業績」欄つづき

研究代表者及び研究分担者の業績が次頁以降にわたる場合は、その後に連携研究者の業績記入欄を設けてください。

同一の論文等を研究代表者、研究分担者、連携研究者で共同執筆している場合は、それぞれの業績として別々に記入するのではなく、いずれか一人のところにもみ記入するようにしてください。

其盤C (一般) - 7

| 研究業績(つづき) | | 研究代表者・分担者欄全体の通し番号を付してください。 |
|-----------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2010 | 半蔵門 太郎 麴町 一郎 永田 町男 永田 町男 | 5. 論文名 麴町太郎、半蔵門一郎、永田町男、学術仙太(他2名) ××学会誌 5巻 査読有 114-133 (2010) 6. 論文名 永田町男、学術仙太(他7名、1番目) ☆☆学会予稿集 査読無 13-15 (2010) |
| 2009 | 半蔵門 太郎 麴町 一郎 | 7. . . . 8. . . . |
| 学術 仙太 | | 1. 論文名 学術仙太、○○○○(他6名、1番目) ■■■■ 20巻 査読無 21-24 (2012) ■■■■ 2. 論文名 学術仙太、◆◆◆◆(他2名、1番目) ▽▽学会誌 4巻 査読有 63-68 (2010) |

線は移動可

連携研究者欄は二重線で区別し、研究代表者及び研究分担者の業績を記入した後に欄を設けてください(二重線は移動可。また、該当がない場合には削除してもかまいません)。

連携研究者欄内での通し番号を付してください。

6. 応募内容ファイルについて(9)

⑦「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄

研究計画の遂行において、人権保護や法令等の遵守が必要な研究の場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

基盤C（一般）－10

人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領●頁参照）

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

「研究計画・方法（概要）」欄に記述した内容と照らして記述してください。研究計画を遂行するにあたって「人権の保護及び法令等の遵守への対応」でどのような対策と措置を講じるのかを詳細に記述してください（指示書きのケースは例示列挙であることに注意）。該当しない場合には、「該当なし」と記述してください。

6. 応募内容ファイルについて(10)

⑧「設備備品費の明細・消耗品費の明細」欄

何をどれだけ購入するのか、できるだけ具体的に記入してください。

年度毎に線を引いて区分してください。また、年度毎に合計金額を記入してください。

いずれかの年度において、「設備備品費」が全体の研究費の90%を超える場合には、当該経費の必要性を「研究経費の妥当性・必要性」欄に記述してください。

基盤C(一般) - 11
(金額単位：千円)

| 設備備品費の明細 | | | 消耗品費の明細 | |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------|-----|
| 記入に当たっては、基盤研究(C)(一般)研究計画調書作成・記入要領を参照してください。 | | | 記入に当たっては、基盤研究(C)(一般)研究計画調書作成・記入要領を参照してください。 | |
| 年度 | 品名・仕様 (数量×単価) (設置機関) | 金額 | 品名 | 金額 |
| 26 | 〇〇システム (~~社製 型番 00-00) 一式 (内訳) ・〇×装置 ・□△〇器 ・モニタ用 PC 学振大学 | 1,500 | 〇〇〇〇 | 300 |
| | | | 〇△〇△ | 200 |
| | | | ☆〇☆〇 | 50 |
| | 計 | 1,500 | 計 | 550 |
| 27 | | | 〇〇〇〇 | 200 |
| | | | 〇△〇△ | 200 |
| | | | ☆〇☆〇 | 100 |
| | | | 計 | 600 |
| 28 | <p>記入に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を十分に参照してください。購入しようとする物品が、設備備品に該当するか消耗品に該当するかについては、各研究機関での取り扱いに従ってください。</p> | | | |

6. 応募内容ファイルについて(11)

⑨「旅費等の明細」欄

行き先、期間等、できるだけ具体的に記入してください。

いずれかの年度において、「旅費」または「人件費・謝金」が全体の研究費の90%を超える場合、及び「その他」において特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性(内訳等)を「研究経費の妥当性・必要性」欄に記述してください。

基盤C（一般）－12

(金額単位：千円)

| 旅費等の明細 (記入に当たっては、基盤研究(C)(一般)研究計画調書作成・記入要領を参照してください。) | | | | | | | | |
|------------------------------------------------------|-----------------------|-----|-------------------|-----|------------------|-----|----------------|-----|
| 年度 | 国内旅費 | | 外国旅費 | | 人件費・謝金 | | その他 | |
| | 事項 | 金額 | 事項 | 金額 | 事項 | 金額 | 事項 | 金額 |
| 26 | 打合せ ○○大学 2日間 | 70 | | | ▲▲実験補助 5人×4日間 | 120 | ～～委託分析 | 150 |
| | ▲▲実験 ☆☆研究所 4日間 | 150 | | | | | ホームページ 作成費用 | 50 |
| | 計 | 220 | | | 計 | 120 | | 200 |
| 27 | 打合せ ○○大学 2日間×3回 | 210 | 学会発表 上海 4日間 | 250 | ▲▲実験補助 5人×4日間 | 120 | ～～委託分析 | 150 |
| | ▲▲実験 ☆☆研究所 4日間 | 150 | | | | | | 30 |
| | 計 | 360 | 計 | 300 | | | | 80 |
| 28 | | | | | | | | |

「その他」については、設備備品費、消耗品費、旅費、人件費・謝金のほか当該研究を遂行するための経費が該当します。研究計画調書作成・記入要領に例示を示しておりますが、例示以外のもので該当するものについて記入することができます。

6. 応募内容ファイルについて(12)

⑩「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄

研究代表者の応募時点における「(1)応募中の研究費」、「(2)受入予定の研究費」、「(3)その他の活動」、について、次のことに留意し、それぞれの状況を記入してください。

- ・「(1)応募中の研究費」、「(2)受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。
- ・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区分して記入してください。
- ・所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても、「(1)応募中の研究費」、又は「(2)受入予定の研究費」に記入してください。
- ・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うため一律に配分されるような基盤的経費については、「(1)応募中の研究費」、又は「(2)受入予定の研究費」に記入する必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは「(3)その他の活動」に記入してください。また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフォートは、「(3)その他の活動」に記入してください。
- ・日本学術振興会特別研究員(SPD、PD、RPD)であって、平成26年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には「(2)受入予定の研究費」に記入してください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金(研究遂行経費)については、記入しないでください。

6. 応募内容ファイルについて(13)

⑩「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄(研究代表者一人の場合)

研究代表者のみ作成・添付

基盤C(一般) - 13

| 研究費の応募・受入等の状況・エフォート | | | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------|--|
| <p>本欄は、第2段審査(合議審査)において、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、添付資料をご覧ください。</p> <p>① 平成26年度に研究代表者が使用する直接経費の額(分担金として配分する額を含まない。応募中のものは応募額)を記入し、下段に括弧書きで研究期間全体で受け入れ自ら使用する直接経費の総額(予定額)を記入。</p> <p>② エフォート(%)として記入してください。ただし、「計画外」の場合は、「計画外」も記入してください。</p> | | | | | |
| 資金制度・期間・配分機関 | 代表・分担の割合(%) | 平成26年度の研究経費(期間全体の額)(千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること) | |
| 【本応募研究課題】 基盤研究(C)(一般) (H26~H28) | ○○○○ | 代表 1,960 (5,000) | 15 | (総額5,000千円) | |
| 特別推進研究(H26~H30) | ××××× | 代表 105,220 (256,330) | | <p>▼▼▼という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では■■■を目的とする。 (総額482,600千円)</p> | |

上段に平成26年度に研究代表者が使用する直接経費の額(分担金として配分する額を含まない。応募中のものは応募額)を記入し、下段に括弧書きで研究期間全体で受け入れ自ら使用する直接経費の総額(予定額)を記入。

連携研究者として参画するものは記入不要。

本欄は総額のほかは空欄でかまいません。

研究分担者がいない場合、同じ金額を記入。

重複応募が可能であっても、重複して採択されることのない種目を記載する場合は「-」を記入。

6. 応募内容ファイルについて(14)

⑩「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄(研究分担者がいる場合)

| (1) 応募中の研究費 | | | | | |
|---------------------------------------|---------|-------------------------|----------|--------------------------------------------------------------|--|
| 資金制度・研究費名(期間・配分機関等名) | 代表・分担の別 | 平成26年度の研究経費(期間全体の額)(千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を) | |
| 【本応募研究課題】 基盤研究(C)(一般) (H26~H28) | 代表 | 1,960 (3,200) | 15 | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を) | |
| 基盤研究(C)(一般) (H26~H28) | 分担 | 500 | 5 | ▼▼▼という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では■■■■を目的とする。 | |
| 新学術領域研究(研究領域提案型)公募研究(H26~H27) | 代表 | 2,000 (4,000) | 10 | 本申請課題と・・・という点で、研究目的が異なる。 | |

(総額 5,000 千円)

(総額 4,000 千円)

上段に平成26年度に研究代表者が使用する予定の直接経費の額を記入(研究分担者に配分予定の平成26年度直接経費を含まない額)。

下段に研究期間全体の研究代表者が自ら使用する予定の直接経費の額を記入(研究分担者に配分予定の研究期間全体の直接経費を含まない額)。

研究分担者がいる場合、記入する金額が異なる。

研究課題全体の直接経費の額(研究代表者の使用予定額と研究分担者の使用予定額を合わせた額)を記入。

「分担」の場合、「総額」については記入する必要はありません。

新学術領域研究(研究領域提案型)の場合には、計画研究、公募研究の別を記入。

6. 応募内容ファイルについて(15)

研究代表者のみ作成・添付

基盤C (一般) - 14

| 研究費の応募・受入等の状況・エフォート (つづき) | | | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------|---------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------|
| (2) 受入予定の研究費 | | | | | |
| 資金制度・研究費名 (期間・配分機関等名) | 研究費の配分率 (%) | 研究費の分担の割合 (%) | 平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (千円) | エフォート (%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること) |
| ◎◎助成事業 (H24～H26) ●●機構 | ○△○△○ | 代表 | 1,000 (3,000) | 10 | ×××という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では○○○を目的とする。 |
| ◇◇推進費 (H25～H26) ◆◆大学内公募資金 | □□○○□ (永田町男) | 分担 | 200 (400) | 5 | ※※※という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では△○△を目的とする。 |
| (3) その他の活動 〔上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。〕 | | | | 55 | |
| 合 計 (上記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計) | | | | 100 (%) | |

応募時点で平成26年度の正確な配分率が分からない場合も、およその金額を記入。

科研費以外の事業については、総額は記入しなくても可。

研究分担者等の場合は、括弧書きで研究代表者の氏名を記入。

特に名称のない研究機関内公募資金等は、当該資金の内容がわかるような名称を記入。

6. 応募内容ファイルについて(16)

特別研究員奨励費の継続課題がある場合

研究代表者のみ作成・添付

基盤C (一般) - 14

| 研究費の応募・受入等の状況・エフォート (つづき) | | | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------|---------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------|
| (2) 受入予定の研究費 | | | | | |
| 資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名) | 研究課題名 (研究代表者氏名) | 役割 (代表・分担の別) | 平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (千円) | エフォート (%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること) |
| 特別研究員奨励費 (H25~H27) 平成25年度採用25・6789 | ○△○△○ | 代表 | 1,000 (3,000) | 70 | ×××という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では○○○を目的とする。 (総額3,000千円) |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f9cb9c;"> <p>特別研究員奨励費の場合には、「種目名」、「研究期間」に加え、「採用年度」、「課題番号」もあわせて記入。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f9cb9c;"> <p>日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金(研究遂行経費)については、記入しない(含めない)。</p> </div> </div> | | | | | |
| (3) その他の活動 〔上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。〕 | | | | 0 | |
| 合 計 (上記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計) | | | | 100 (%) | |

6. 応募内容ファイルについて(17)

【その他注意事項】

1. 平成26年度公募について、文部科学省及び日本学術振興会ホームページ上に研究計画調書の応募内容ファイルを、関係通知と併せて掲載しています。研究計画調書の応募内容ファイルの作成に当たっては、ホームページから応募内容ファイルの様式をダウンロードして作成してください。
2. 例年、提出(送信)された研究計画調書の中に、白紙のページや、他の研究課題の応募内容ファイルが添付されているものが見受けられますが、そのままの状態では審査に付されませんので、十分注意してください。
3. 研究計画調書は審査資料ですので、極端に小さい字、行間、字間の狭いものなど、読みづらいものは避けてください。
4. 電子申請システムによって入力された研究計画調書のデータは来年8月末で消去する予定ですので、必要に応じて各機関で保存等行ってください。
5. 平成25年度(昨年度)公募に係る審査結果の開示期間は、平成25年11月29日(金)までです。

応募に当たっての参考資料(1)

①国立情報学研究所の科学研究費助成事業データベース(KAKEN)

<http://kaken.nii.ac.jp/>

ヘルプ サービス概要 よくある質問 English

ネットワークメンテナンスに伴うKAKENサービスの停止について(2013年8月15日(木)午前3時45分から5時の間に10分間程度)(2013/08/08)

平成25年度の採択課題情報(新学術領域研究(研究領域提案型))の一部(新規:216件)を追加収録しました(2013/07/17)

KAKEN

科学研究費助成事業データベース

フリーワード

▼詳細検索

報告書全文

研究分野

研究種目

研究機関

研究分野一覧を参照

研究種目一覧を参照

研究機関一覧を参照

研究課題名

研究課題番号

採択年度 年から 年まで (新規採択のみ) 最終年度 年から 年まで

キーワード

総配分額 千円~ 千円

研究者名

研究者所属機関

代表者のみ

研究者番号

発表文献書誌情報 (タイトル、著者名、刊行物名、発行年で検索できます)

産業財産権出願名称

産業財産権番号

産業財産権種類

指定なし

産業財産権発明者

産業財産権権利者

国内外の別

指定なし

産業財産権出願日

に出願 (入力例:20060927, 200609, 2006. 指定しない場合は空欄)

産業財産権取得日

に取得 (入力例:20060927, 200609, 2006. 指定しない場合は空欄)

研究課題を検索

研究者を検索

ヘルプ サービス概要 よくある質問 GeNii 国立情報学研究所

このサイトに掲載された情報に間違い等を見られた場合はこちらをご覧ください。

科学研究費の「基金化」された各種目の配分額等の内容についてはこちらをご覧ください。

Copyright © 2005-2013 National Institute of Informatics All Rights Reserved.

詳細検索から、「研究分野」、「研究種目」を指定することで、過去、どの研究分野でこういった研究課題が採択されているかが確認できます。

応募に当たっての参考資料(2)

②科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程(評価ルール)、過去の審査委員名簿の確認

The screenshot shows the JSPS website interface. On the left sidebar, the menu item '審査・評価について' is highlighted with a red box and a red arrow pointing to it. The main content area displays a 'NEWS' section with a list of news items. A red arrow points from the highlighted sidebar item to the news article titled '審査委員名簿の更新について'.

| 日付 | 内容 |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2013年8月6日 | 【文部科学省】「平成26年度科学研究費助成事業公募要領等説明会」等の開催について(通知)<文部科学省のHPへのリンク> |
| 2013年8月1日 | 科研費ハンドブック-2013年度版-【研究者用】【研究機関用】について |
| 2013年8月1日 | 「私と科研費No.55(平成25年8月)」を掲載しました。 |
| 2013年7月31日 | 平成25年度科学研究費補助金「調整金」を利用した前倒し使用の申請について |
| 2013年7月31日 | 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(新学術領域研究(研究領域提案型)交付決定について |
| 2013年7月30日 | 平成25年度科研費(基金分、一部基金分)の前倒し支払請求について |
| 2013年7月30日 | 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(特別研究員奨励費)第2回の交付について |
| 2013年7月26日 | 「科学研究費助成事業業務担当者向け説明会」等資料について |
| 2013年7月12日 | 平成25年度科研費の審査に係る総括について |
| 2013年7月11日 | 平成24年度及び25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)の審査について |
| 2013年7月8日 | 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)「国際化(A)」「オープンアクセス刊行支援」の交付決定について |
| 2013年7月5日 | 科研費パンフレット2013を作成しました |
| 2013年7月1日 | 科研費FAQを更新しました |
| 2013年7月1日 | 審査委員名簿の更新について |
| 2013年7月1日 | 「私と科研費No.54(平成25年7月)」を掲載しました。 |
| 2013年6月28日 | 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(新学術領域研究(研究領域提案型)の新規の研究領域)の交付決定について |
| 2013年6月28日 | 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(基礎研究(S))の交付決定について(新規採択分) |
| 2013年6月28日 | 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(特別研究員奨励費)第1回の交付決定について |
| 2013年6月24日 | 科研費NEWS 2013Vol.1について |
| 2013年6月20日 | 平成25年度国庫債務負担行為に基づく科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(特別推進研究)の交付決定について |
| 2013年6月20日 | 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(新学術領域研究(研究領域提案型)、基礎研究、若手研究、研究活動スタート支援)の交付決定について |
| 2013年6月20日 | 平成25年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基礎研究(C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(B))の交付決定について |
| 2013年6月20日 | 平成25年度科学研究費助成事業(基礎研究(B)及び若手研究(A))(平成24年度以降に採択された研究課題)の交付決定について |

日本学術振興会科研費トップページ
<http://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/index.html>から、「審査・評価について」のページへ

応募に当たっての参考資料(3)

②科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程(評価ルール)、過去の審査委員名簿の確認

審査・評価について | 科学研究費助成事業 | 日本学術振興会 - Windows Internet Explorer

http://www.jsps.go.jp/j-erant/

審査・評価について | 科学研...

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

スケジュール
科研費パンフレット
科研費FAQ
科研費の「基金化」

■ 研究概要・成果
科研費による成果
学術研究課題の最前線(大型種目・新規採択概要)
科研費NEWS
最近の研究成果
科研費からの成果展開事例

■ 私と科研費

■ 公募情報
重子申請のご案内
公募要領・計画書等
(特別推進・基盤・挑戦的萌芽・若手(A・B))
(研究活動スタート支援)
(奨励研究)
(研究成果公開促進費)
系・分野・分科・細目表

■ 各種目のページ
特別推進・基盤・挑戦的萌芽・若手
研究活動スタート支援
奨励研究
研究成果公開促進費
特別研究員奨励費
学術創成研究費
新学術領域研究(研究領域提案型)

■ 使用ルール・様式集
交付申請時の様式(A・D・X様式)
交付決定後の様式(B・C様式)
交付決定後の様式(E・F様式)
交付決定後の様式(Y・Z様式)

審査・評価関係

審査・評価について

科研費の配分審査の基本的な考え方は、文部科学省の諮問機関である科学技術・学術審議会が決定する「独立行政法人日本学術振興会が行う科学研究費補助金の審査の基本的な考え方」に拠っています。これを踏まえて本会の科学研究費委員会が決定した審査規程等により、科学研究費委員会の各部会が配分審査を行います。

NEWS一覧 審査の流れ 科研費委員会 審査結果の開示 審査委員候補者DB

■ NEWS一覧

2013年7月12日 [平成25年度科研費の審査に係る機括について](#)

2013年7月1日 [審査委員名簿の更新について](#)

2013年4月30日 [審査委員候補者に関する学協会からの情報登録について](#)

2013年4月19日 [平成25年度科学研究費助成事業の審査結果等の開示について](#)

2013年4月8日 [審査委員候補者データベースのご確認について](#)

2013年2月6日 [科学研究費助成事業における審査および評価に関する規程\(平成25年2月6日一部改正\)について](#)

2012年12月18日 [審査委員名簿の更新について](#)

2012年10月31日 [平成24年度科研費の審査委員表彰について](#)

2012年9月7日 [審査委員名簿の更新について](#)

○平成25年度の審査について

■ 審査規程等

| 審査規程 |
|------------------------------------------|
| 科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程(平成25年2月6日一部改正) |

審査規程の主な改正点

- 研究進捗評価の実施年度の見直しに伴う改正(第16条)
- 特別推進研究のヒアリング時間の見直しに伴う改正(第16条)
- 複数細目研究課題に係る審査結果の開示内容の改正(第13条)

[独立行政法人日本学術振興会が行う科学研究費助成事業の審査の基本的考え方\(平成24年10月23日一部改正\)](#)

評価ルールを確認できます。
※平成26年度公募に係る評価ルールは10月上旬頃公開予定。



応募に当たっての参考資料(4)

② 科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程(評価ルール)、過去の審査委員名簿の確認

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://www.jspso.go.jp/-grants>. The page content includes a navigation menu on the left with links like '科研費データ', '関係規程', '関連の報告書', and '関連リンク'. A central flowchart titled '■審査のながれ' (Review Process) shows the following steps: '審査委員の選定' (Selection of Reviewers) -> '第1段審査(書面審査)' (First-stage review (written review)) -> '第2段審査(合議審査)' (Second-stage review (deliberative review)) -> '交付内定・決定' (Award determination/decision). A pink oval highlights the second and third steps, with the text 'ピア・レビュー(専門分野の近い研究者による審査)' (Peer review (review by researchers in the same field)). Below the flowchart, a text box explains that the second-stage review is a deliberative review involving multiple committees. A red arrow points from a text box on the right to a link in the '■科学研究費委員会' (Science and Technology Research Promotion Council) section. The link is '審査委員名簿' (List of Reviewers), which is highlighted with a red box. Other links include '科学研究費委員会規程' and '招標図' (Invitation to Apply diagram).

過去の審査委員名簿を確認できます。

■審査委員の選考
科研費の審査委員の選考は、以下の手順で行われます。

- 1 日本学術振興会学術システム研究センター(プログラムオフィサーに相当する研究員で構成)において、日本学術振興会審査委員候補者データベースを活用し、各専門調査班毎に候補者の選定作業を行い、同センターの主任研究員会議における調整を踏まえ、候補者案が決定されます。
- 2 作成された候補者案にもとづき、日本学術振興会科学研究費助成事業選考会にて審議を行い、審査委員を決定します。

注) 審査委員の任期は、原則として2年ですが、継続を予定していた審査委員の辞退等に伴い新たに審査委員となった方々の任期は、1年となります。

応募に当たっての参考資料(5)

③ 科研費の採択状況のデータ

The screenshot shows the JSPS website interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: 交付決定後の様式(E・F様式), 交付決定後の様式(Y・Z様式), 使用ルール, 採択制度, 「調整金」について, 研究成果における謝辞の表示, 共同利用設備の購入について, 科研費の柔軟な使用のための研究機関の取組例について, 科研費ハンドブック, 審査・評価関係, 審査・評価について, 審査委員候補者データベース, 学会からの審査委員候補者情報募集について, 審査委員候補者情報登録システム, 審査委員の表彰, 関連データ, 過去のNEWS一覧, **科研費データ** (highlighted with a red box and a red arrow), 関連規程, 関連の報告書, 関連リンク, 所在地・連絡先, English, JSPS Home, お問い合わせ先 Contact, 独立行政法人 日本学術振興会 研究事業部 研究助成第一課、研究助成第二課 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1 詳細はこちら.

The main content area displays a list of news items with dates and titles, such as: 2013年7月1日 科研費FAQを更新しました, 2013年7月1日 審査委員名簿の更新について, 2013年7月1日 「私と科研費No.54 (平成25年7月)」を掲載しました., 2013年6月28日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(新学術領域研究(研究領域提案型)の新規の研究領域)の交付内定について, 2013年6月28日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(基礎研究(S))の(新規採択分), 2013年6月28日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(特別研究員奨励費)について, 2013年6月24日 科研費NEWS2013Vol.1について, 2013年6月20日 平成25年度国庫債務負担行為に基づく科学研究費助成事業(科学研究費補助金)の交付決定について, 2013年6月20日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(新学術領域研究(基礎研究、若手研究、研究活動スタート支援)の交付決定)について, 2013年6月20日 平成25年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基礎研究(研究、若手研究(B)))の交付決定について, 2013年6月20日 平成25年度科学研究費助成事業(基礎研究(B)及び若手研究(A))(平成24年度以降に採択された研究課題)の交付決定について, 2013年6月20日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(奨励研究)の交付決定について, 2013年6月20日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)「研究成果公開発表」「国際情報発信強化(B)」「学術定期刊行物」「学術図書」「データベース」の交付決定について, 2013年6月20日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(新学術領域研究(研究領域提案型)、基礎研究、若手研究、研究活動スタート支援)の交付決定後の様式について, 2013年6月20日 平成25年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基礎研究(C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(B))の交付決定後の様式について, 2013年6月20日 平成25年度科学研究費助成事業(基礎研究(B)及び若手研究(A))(平成24年度以降に採択された研究課題)の交付決定後の様式について, 2013年6月12日 「科学研究費助成事業実務担当者向け説明会」等の開催について(通知), 2013年6月10日 「科研費NEWS 2012 Vol.4」の訂正について, 2013年6月3日 「私と科研費No.53 (平成25年6月)」を掲載しました., 2013年5月31日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(基礎研究(S))の交付内定について, 2013年5月20日 平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)「国際情報発信強化(A)」「オープンアクセス刊行支援」の交付内定について, 2013年5月8日 平成25年度科学研究費補助金「調整金」利用の具体的手続き等について, 2013年5月1日 「私と科研費No.52 (平成25年5月)」を掲載しました., 2013年4月30日 科研費ハンドブック(研究者用)2013年度を作成しました.

At the bottom right, there is a link: [過去のNEWS一覧はこちら](#).

日本学術振興会科研費トップページ
<http://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/index.html>から、「科研費データ」のページへ

応募に当たっての参考資料(6)

③ 科研費の採択状況のデータ

科研費データ | 科学研究費助成事業 | 日本学術振興会 - Windows Internet Explorer

http://www.jsps.go.jp/-grants

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

文字サイズ変更 小 中 大

サイト内検索 サイトマップ

一般の方へ 研究者/機関担当者の方へ English

日本学術振興会について 事業のご案内 事業の成果 調達情報 職員採用情報 情報公開 アクセス方法 お問い合わせ

TOP > 事業のご案内 > 科学研究費助成事業 > 科研費データ

メニュー

- トップ
- コンテンツ
- 制度概要
 - ▶ 研究種目・概要
 - ▶ スケジュール
 - ▶ 科研費パンフレット
 - ▶ 科研費FAQ
 - ▶ 科研費の「基金化」
- 研究概要・成果
 - ▶ 科研費による成果
 - ▶ 学術研究課題の最前線(大型種目・新規採択概要)
 - ▶ 科研費NEWSレター
 - ▶ 最近の研究成果
 - ▶ 科研費からの成果展開事例
- ▶ 私と科研費
- 公募情報
 - ▶ 重子申請のご案内
 - ▶ 公募要領・計画書等
 - ▶ (特別推進・基盤・挑戦的萌芽・若手(A・B))
 - ▶ (研究活動スタート支援)
 - ▶ (奨励研究)

科学研究費助成事業
Grants-in-Aid for Scientific Research
(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)

関連データ

科研費データ

- I. 科研費の予算
 - (1) 予算額の推移
 - (2) 直接経費・間接経費の推移
- II. 科研費の応募・採択の状況
 - (1) 応募・採択の状況
- III. 科研費の配分状況
 - (1) 研究種目別配分状況
 - ① 一覧
 - ② 研究分野別配分状況
 - ③ 研究期間別応募・採択件数
 - (2) 研究分野別配分状況
 - ① 一覧
 - ② 分科別応募・採択件数・配分額(全体)
 - ③ 分科別応募・採択件数・配分額(上位10分科)
 - ④ 細目別応募・採択件数
 - (3) 研究機関種別配分一覧
 - ① 一覧

予算額の推移や、応募採択の状況を確認することができます。